

Kansai Economic Insight Monthly

2014/8/19

Vol.16 July/August

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”

は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 研究統括）、岡野光洋・林万平・木下祐輔（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	8
主要月次統計	11
Release Calendar	12

要 旨

- ✓ 6月の鉱工業生産は前月比-2.7%と4カ月ぶりの下落。足下、生産は減少しているが四半期ベースでは増産傾向が続く。
- ✓ 6月の輸出額の伸びは小幅プラス。一方、輸入は駆け込み需要の反動減から一転プラスに転じた。結果、貿易収支は4カ月連続の赤字。
- ✓ 駆け込み需要の反動が落ち着きつつあることから、7月の景気ウォッチャー現状判断DIは3カ月連続の改善。同月の消費者態度指数も4カ月連続で改善しているが、改善は幾分緩やか。
- ✓ 5月の現金給与総額は関西2府4県、関西コアのいずれも3カ月連続のプラスで、伸びが加速している。6月の全国の現金給与総額(確報値)は所定外給与や特別給与の増加から、4カ月連続のプラス。所定内給与も2年3カ月ぶりに上昇した。
- ✓ 6月の大型小売店販売額は2カ月ぶりの前年比マイナスとなったが、駆け込み需要の反動減の影響は和らぎつつある。
- ✓ 6月の新設住宅着工戸数は2カ月連続の前年比マイナスとなったが、下落幅は前月から大幅に縮小している。
- ✓ 6月の有効求人倍率は前月比横ばいだが、5カ月連続で1倍台を上回った。失業率は4.5%と前月から上昇した。失業率の上昇は景気の好転からより良い職種を求めて労働力人口が増加したためである。雇用環境は引き続き好調である。
- ✓ 7月の公共工事請負金額は前年比5カ月連続のプラスも、伸び率は減少。季節調整値は2カ月連続の前月比マイナス。
- ✓ 6月の建設工事は前年比26カ月連続のプラスも、伸びは3カ月連続で1桁となった。全国的に建設工事は減速傾向。
- ✓ 7月中国のPMI指数は前月比5カ月連続の改善。「小型の景気刺激策」の影響と考えられる。

【関西経済のトレンド】

	2013年					2014年						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
貿易	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
センチメント	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡
消費	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
住宅	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
雇用	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
公共工事	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡
中国	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡

【鉱工業生産動向】

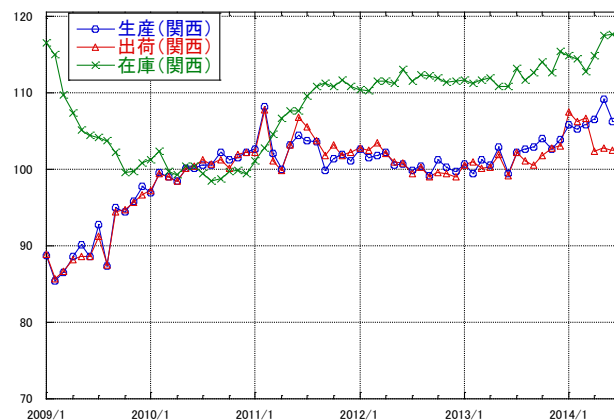
(1) 関西の生産動向

6月の鉱工業指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は106.3で前月比-2.7%と4カ月ぶりの下落。出荷は102.5で同-0.3%と2カ月ぶりの下落。結果、在庫は117.7で同+0.2%、と3カ月連続の上昇。足下、生産は下落しているが、4-6月期平均で見れば、前期比+1.5%と7期連続の増産。生産は増加トレンドが続いている。

業種別に生産指数をみると、化学（除 医薬品）（同-7.8%）、はん用・生産用・業務用機械（同-3.2%）、電気機械（同-4.2%）等が下落した。一方、プラスチック製品（同+2.8%）、繊維（同+0.4%）、等が上昇した。

前月までの増産傾向から今月は減産に転じたものの、四半期ベースで見れば生産は増加トレンドが続いている。

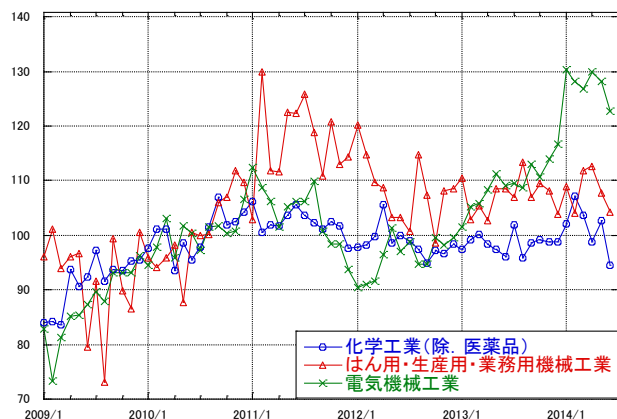
鉱工業指数の推移(関西：2014年6月まで、平成22年=100)



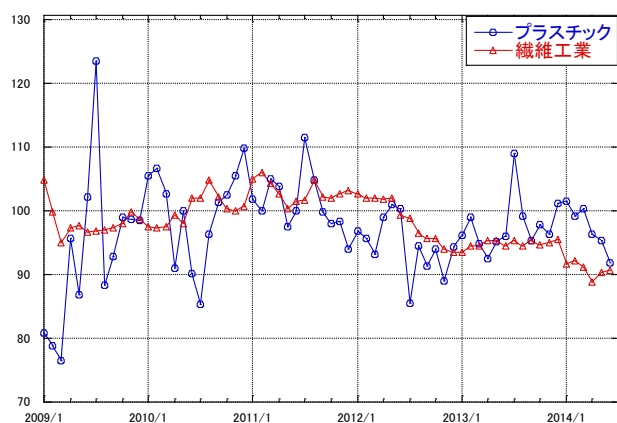
(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移(関西：2014年6月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

(2) 全国生産動向

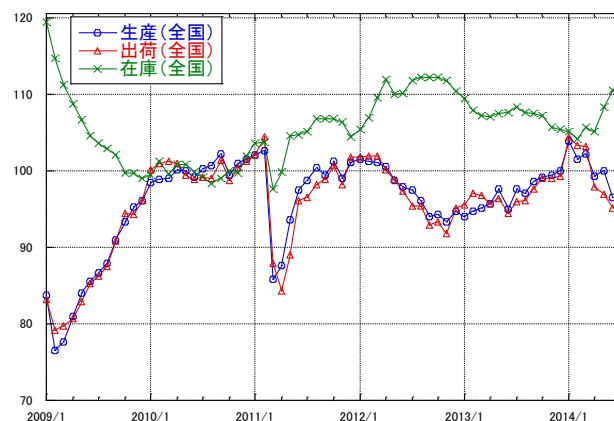
全国における5月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は96.6となり前月比-3.4%と2カ月ぶりの下落。出荷は95.2で同-1.9%と5カ月連続の下落。在庫は110.6で同+2.0%と2カ月連続の上昇となった。足下の生産指数の減少に伴い、4-6月平均の生産指は前期比-3.8%と6期ぶりの減産となった。

業種別にみると、輸送機械(同-4.1%)、はん用・生産用・業務用機械(同-2.8%)、情報通信機械(同-8.8%)等を中心に幅広い業種で減産となった。

消費増税後、全国生産動向は増減を繰り返しており、今後の方向性が見極めにくい。四半期ベースで見れば、6期ぶりの減産となっており、減産感が強まっている。速報時の製造工業生産予測調査によれば、7月(前月比+2.5%)、8月(同

+1.1%)は増産の見込みとなっているものの、今後の動きを注視する必要がある。

鉱工業指数の推移(全国：2014年6月まで、平成22年=100)



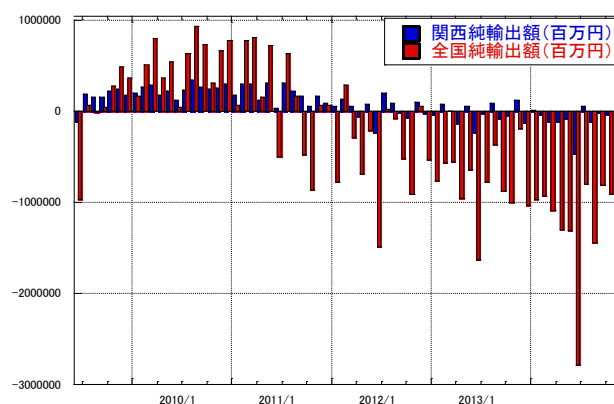
(出所) 「鉱工業指数」、経済産業省

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(確速)によれば、6月関西の貿易収支は-217億円と4カ月連続の赤字となり、前年同月比1401億円悪化した。結果、4-6月期は-575億円と7期連続の赤字となり、赤字幅は前年同期比550億円拡大した。また、上半期の貿易収支は-5,785億円と4期連続の赤字(前年同期比+240.7%)となった。

純輸出(百万円)推移(2014年6月まで)



(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

全国6月の貿易収支（速報値）は-8,232億円と24カ月連続の赤字となった(前年同月比+356.0%)。4-6月期は-2兆5,489億円となり、赤字幅は前年同期比24.4%拡大した。結果、上半期の貿易収支は-7兆5,994億円と過去最大の赤字となり、7期連続の赤字（前年同期比+57.9%）。

（2） 輸出

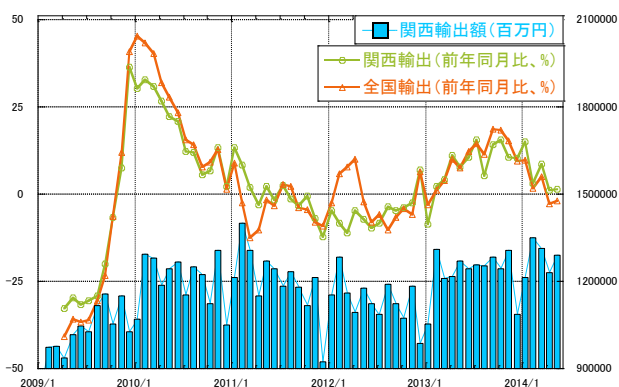
関西6月の輸出額（速報値）は1兆2,889億円、前年同月比+1.5%と16カ月連続の増加だが、4カ月連続で1桁の伸びとなっている。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、鉄鋼、原動機(単月過去最高)、有機化合物(単月過去最高)であった。

4-6月期は前年同期比+3.7%と5期連続の増加も、伸び率は3期連続で減速。上半期の輸出額は、7兆4,848億円となり、前年同期比+6.2%と3期連続の増加となったが、伸び率は前期(+11.9%)から減少した。

全国6月の輸出額（速報値）は5兆9,405億円、前年同月比-1.9%と2カ月連続の減少。財別に見れば、半導体等電子部品、有機化合物、鉱物性燃料等の輸出が減少した。

4-6月期は前年同期比+0.1%と6期連続の増加も、伸びは2期連続で減速した。上半期の輸出額は、35兆507億円であり、前年同期比+3.2%と3期連続の増加も、伸び率は前期(+15.0%)から大幅に減速した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年6月まで)



(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

（3） 輸入

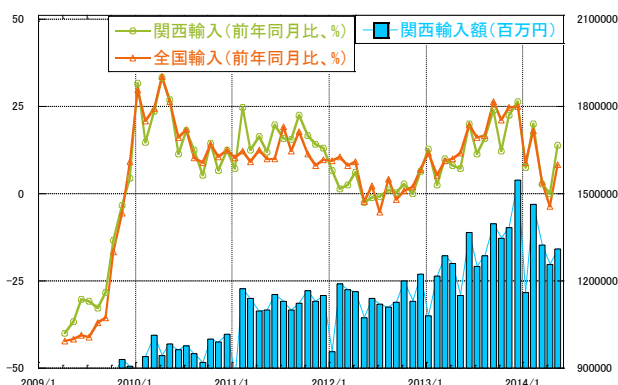
関西6月の輸入額（速報値）は1兆3,105億円と単月過去最高額を更新した。前年同月比+13.8%と、先月の横ばいから増加に転じた。財別に見れば、原油及び粗油、半導体等製造装置等を中心に大幅増加。いずれも単月過去最高である。駆け込み需要の反動減で4、5月は伸びが大幅減速となったが、6月は再び拡大してきたようである。

4-6月期で見れば、前年同期比+5.2%と7期連続の増加も伸び率は3期連続で減速。上半期の輸入額は8兆657億円と過去最高額を更新。前年同期比+11.7%と9期連続の増加。伸び率は2期連続で2桁となっている。

全国6月の輸入額（速報値）は6兆7,637億円、前年同月比+8.4%と2カ月ぶりの増加。財別に見れば、原粗油、石油製品、液化天然ガス等の輸入が増加した。

4-6月期は前年同期比+2.6%と18期連続のプラスも、伸び率は2期連続で大きく減少。上半期の輸入額は42兆6,501億円と過去最高額を更新。前年同期比+10.0%と9期連続のプラス。伸び率は2期連続で2桁となっている。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年6月まで)



(出所)「財務省貿易統計」、財務省

（4） 関西の地域別貿易

6月関西の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,740億円と5カ月連続の黒字だが、黒字幅は3カ月ぶりに縮小した(前年同月比-21.0%)。うち、輸出は16カ月ぶりのマイナス(同-0.9%)。財別に見れば、鉱物性燃料(同-25.8%)、また半導体等製造装置(同-24.3%)等が減少した。輸入は2カ

月ぶりの増加(同+6.0%)。財別に見ると、原油及び粗油(同+173.3%)、半導体等電子部品(同+25.6%)等が増加した。

対中貿易収支は814 億円と 28 カ月連続の赤字。赤字幅は 3 カ月ぶりに拡大(同+6.7%)。うち、輸出は 3 カ月連続のプラス(同+3.9%)となった。鉱物性燃料(同+367.0%)、鉄鋼(同+34.7%)が増加した。輸入は 2 カ月ぶりのプラス(同+4.5%)。半導体等電子部品(同+48.3%)、鉄鋼(同+85.6%)が増加した。

対米貿易収支は+718 億円と黒字基調が続いているが、黒字幅は 2 カ月連続で減少した(同-4.2%)。うち、輸出は 2 カ月ぶりの増加(同+3.6%)。鉄鋼(同+35.0%)、重電機器(同+47.9%)等が増加した。輸入は 2 カ月連続の増加(同+11.1%)。半導体等製造装置(同+174.3%)、石炭の輸入増が大きい。

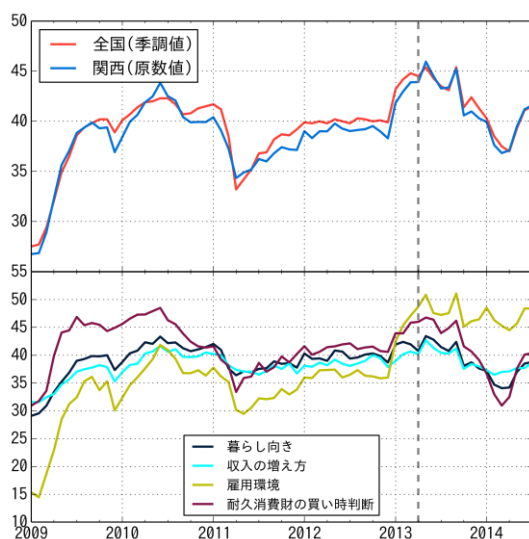
対 EU 貿易収支は-175 億円と 2 カ月連続の赤字であり、赤字幅は拡大した(同-19.8%)。うち、輸出は 13 カ月連続のプラス(同+1.0%)であった。プラスチック(同+42.4%)、金属製品(同+51.6%)等が貢献した。輸入は 3 か月連続の減少(同-2.2%)。たばこ(同-35.6%)、木材(同-26.1%)等が減少した。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の 7 月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.4 ポイントの 41.6 と、4 カ月連続で改善した。消費者心理の改善が続いているが、改善幅は幾分緩やかとなった。

消費者態度指数(2014 年 7 月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成 26 年 8 月 11 日公表)

同指数の構成項目をみると、4 つの指標のうち 3 つが改善、1 つが横ばいとなっている。「暮らし向き」は同+0.3 ポイント、「耐久消費財の買い時判断」は同+0.3 ポイントといずれも 4 カ月連続のプラス。「収入の増え方」は同+1.0 ポイントと前月の横ばいから 2 カ月ぶりのプラス。「雇用環境」は同+0.0 ポイントと前月から横ばいだが高水準を維持している。

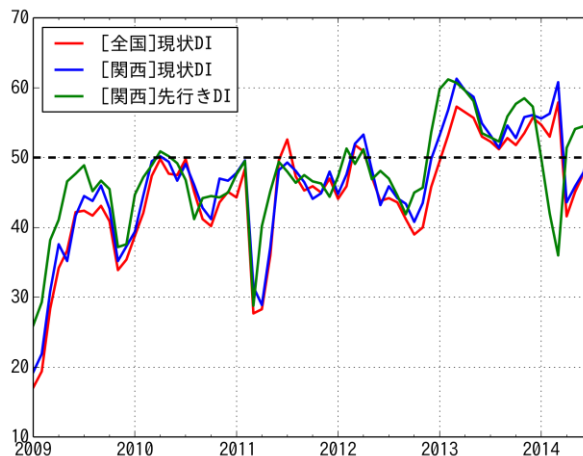
なお全国の 7 月の消費者態度指数(季節調整値)は 41.5 となり、同+0.4 ポイントと 3 カ月連続で改善している。

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の 7 月の現状判断 DI は前月比+3.5 ポイントの 51.4。駆け込み需要の反動が落ち着きつつあることから、3 カ月連続の改善となった。全国も同+3.6 ポイントの 51.3 と 3 カ月連続の改善。

先行き判断 DI は、関西では前月比-2.6 ポイントの 51.9 と 4 カ月ぶりのマイナス。全国では同-1.8 ポイントの 51.5 と 4 カ月ぶりのマイナスとなった。

景気ウォッチャー調査(2014 年 7 月まで)



(出所) 内閣府(平成 26 年 8 月 8 日公表)

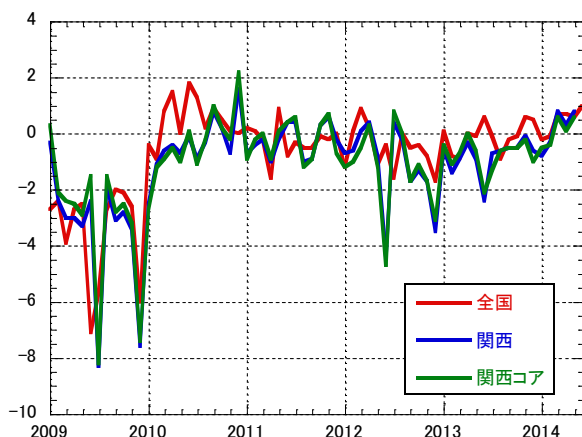
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

5 月の関西 2 府 4 県の現金給与総額(APIR 推計)は 26 万 3,659 円で前年比+0.8%と前月(同+0.3%)より伸びが加速し、3 カ月連続のプラス。府県別では、和歌山県が前年比-0.7%と低下したものの、それ以外の府県では、奈良県で+3.5%、滋賀県で同+1.5%、大阪府で+0.7%、兵庫県で+0.6%、京都

府で+0.3%と増加した。また京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は5月が同+0.6%と3カ月連続のプラスとなり、伸びが加速している(前月:同+0.1%)。全国(確報値)では、6月は同+1.0%(速報値: +0.4%)と4カ月連続のプラスであり、所定外給与や特別給与が増加したことから、伸びが加速している。

現金給与総額(前年同月比: %, 2014年6月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(8月18日公表)

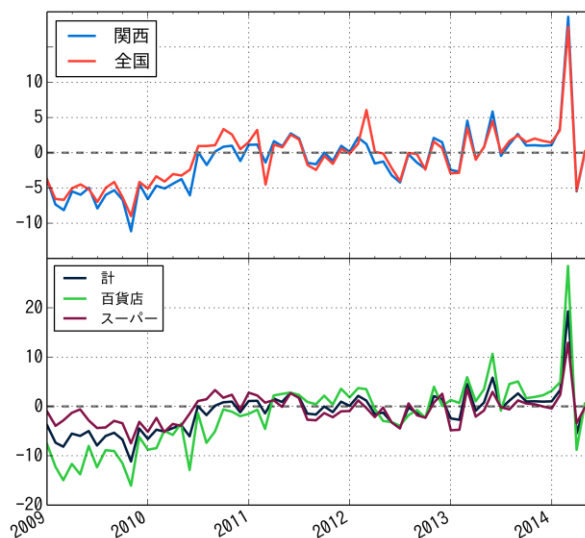
関西全体・コア指数のどちらも伸び率は3月以降プラスに転じているものの、名目ベースで1%に満たない上昇率である。また、6月の全国の伸びが上昇した背景として、所定外給与や特別給与の増加の他に、所定内給与が前年比で2年3カ月ぶりに上昇(+0.2%)したことがあげられる。これは春闘で基本給を底上げるベースアップが多くの企業で広がったためであり、今後賃金上昇が中小企業にまで広がることがポイントである。

(2) 大型小売店販売額

関西の6月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-1.0%と2カ月ぶりのマイナス。百貨店も同-0.9%と2カ月ぶりのマイナス。スーパーは同-1.0%と3カ月連続のマイナス。消費増税から3カ月が経過し、前年同月を下回っているものの、駆け込み需要の反動減の影響は和らぎつつある。

なお全国でも、6月の大型小売店販売額(全店ベース)は同-1.2%と3カ月連続のマイナスとなっている。

大型小売店販売額(前年同月比: %, 2014年6月まで)



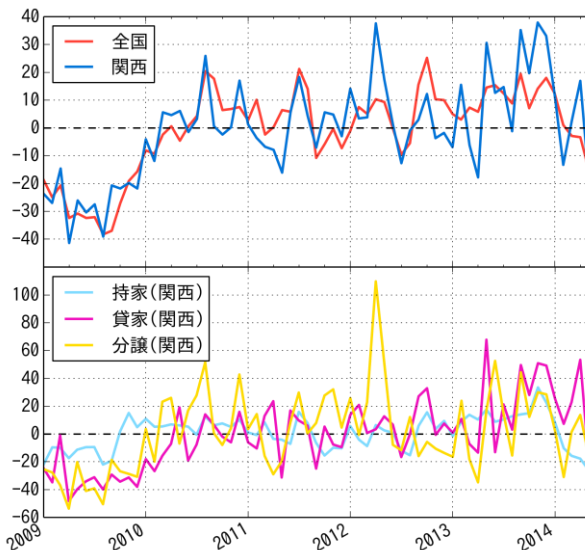
(注) 福井県を含む。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成26年7月29日公表)

(3) 新設住宅着工の動向

関西の6月の新設住宅着工戸数は12,018戸。前年同月比-1.6%と2カ月連続の下落となったが、下落幅は前月(同-18.6%)から大幅に縮小した。全国では同-9.5%と4カ月連続で下落している。

新設住宅着工(前年同月比: %, 2014年6月まで)



(出所) : 国土交通省「住宅着工統計」(平成26年7月31日公表)

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は同-19.3%と5カ月連続の2桁減、分譲が同-30.5%と2カ月連続の2桁減である一方で、貸家は同+57.5%と2カ月ぶりの前年比大幅プラスとなった。

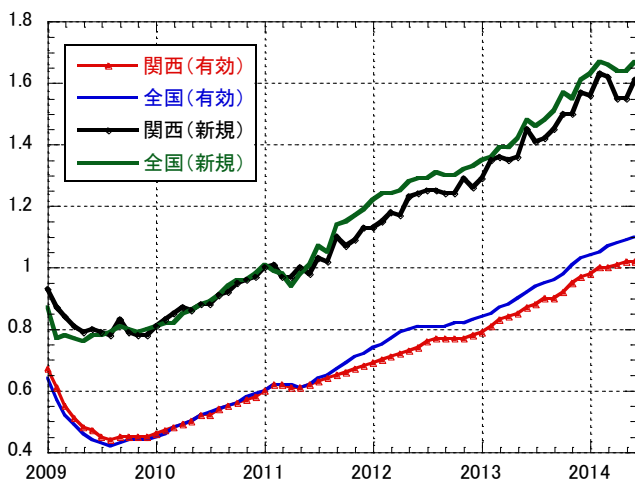
なお7月の関西マンション契約率は77.1%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を34カ月連続(原数値は6カ月連続)で上回り、好調を維持している。

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

6月の関西の有効求人倍率は、製造業や建設業で引き続き求人数が伸びたものの、1.02倍で前月比横ばい。2014年2月以来5カ月連続で1倍台を上回った。全国は1.10倍で同+0.01ポイント上昇。19カ月連続の改善で、前月(1.09)に引き続き、高水準を維持。労働市場は好調が続いている。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2014年6月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況 (平成26年7月29日発表)

関西2府4県有効求人倍率(2014年6月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
6月	1.10	1.02	0.98	1.04	1.11	0.88	0.89	1.05
5月	1.09	1.02	1.04	1.01	1.10	0.88	0.90	1.06

6月の関西の新規求人倍率は、1.61倍と前月比+0.06ポイント上昇した。全国も1.67倍と同+0.03ポイントの上昇。

関西の有効求人倍率を府県別にみると、大阪府と京都府では増加したものの、滋賀県では再び1倍台を下回った。また、和歌山県では3カ月連続で1倍台を上回った。

(2) 完全失業率の推移

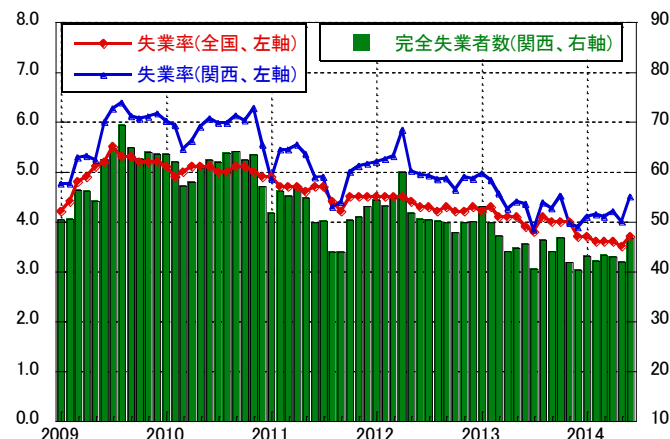
6月の関西の完全失業率は4.5%となり、前月(4.0%)から+0.5ポイントと大きく上昇した。これは労働力人口の増加(前月比+17万人)によるものであり、雇用環境は引き続き好調。(数字はいずれも季節調整値：APIR推計)

全国の完全失業率(季節調整値)は3.7%となり、前月から+0.2ポイント上昇した。10カ月ぶりの悪化であるが、関西と同様、労働力人口増加と自発的な離職(自己都合)の増加によるものである。

全国の就業率(原数値ベース)をみると、72.9%で前月(73.0%)に続き好調を維持。特に、女性の就業率が64.0%と前月(63.7%)から上昇していることが特徴である。

関西の完全失業者数は46.7万人。前月から5万人増加した。関西の労働環境をみると、非労働力人口が18万人減少する一方で、就業者数が13万人増加している。労働力人口の増加と同時に就業者も増加しており、労働市場の好循環は続いている。(数字はいずれも季節調整値：APIR推計)

完全失業率の推移 (季節調整値：%、万人、2014年6月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」 (平成26年7月29日発表)

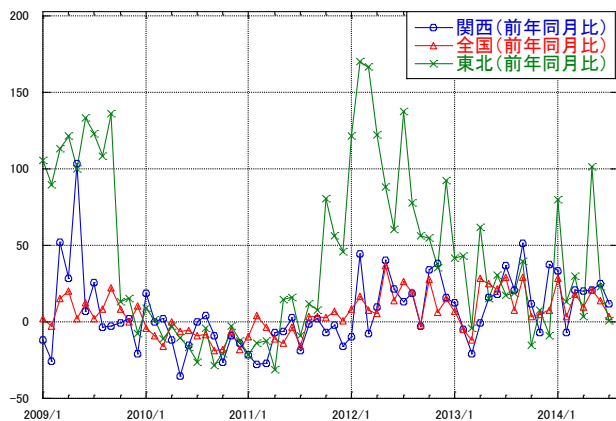
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

7月関西の公共工事請負金額は1,645億円。前年同月比+12.2%と5カ月連続のプラス。全国は1兆6,273億円と同+3.5%、16カ月連続のプラス。伸び率は5カ月ぶりに1桁となった。東北は2,913億円で同+1.0%と、7カ月連続のプラ

スも伸び率は前月(同+23.0%)から大幅減となった。関西、全国、東北は、いずれも伸び率は減少した。

公共工事請負金額(前年同月比：％、2014年7月まで)

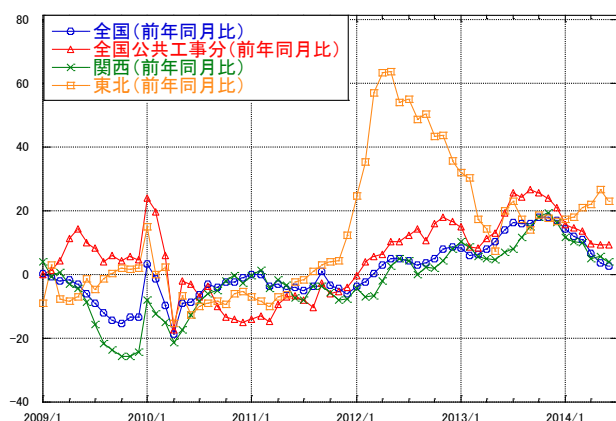


(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社
季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国とも2カ月連続の前月比マイナス(関西：同-5.8%、全国：同-3.0%)となった。請負金額は関西、全国共に伸び率は減速している。

(2) 建設工事

関西6月の建設工事は4,621億円。前年同月比+4.2%と26カ月連続のプラスも、伸び率は3カ月連続で1桁となった。

建設工事(前年同月比：％、2014年6月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

東北は4,894億円、同+23.1%と35カ月連続のプラス。伸び率は依然20%台を維持している。全国は同+2.8%増加し3兆

6,344億円となり、28カ月連続のプラスだが、8カ月連続で伸びは減速。全国の公共工事は1兆4,108億円、同+9.4%と29カ月連続のプラスであり、伸びは前月から横ばい。引き続き、東北は高い伸びを維持しているが、全国的に伸びは減速傾向にある。

【中国景気モニター】

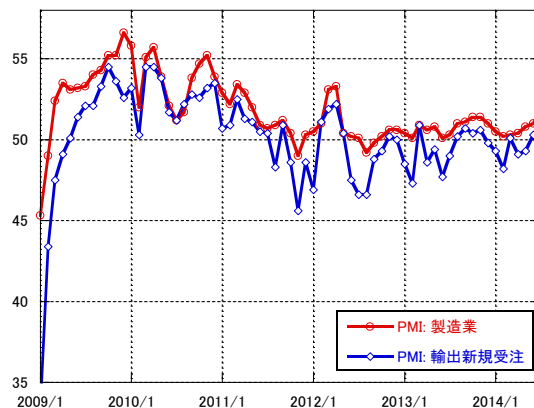
(1) センチメント

7月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月から+0.7ポイント上昇し、51.7となった。5カ月連続の改善。

うち、生産指数は54.2と同+1.2ポイント上昇し、3カ月連続の改善。新規受注指数は53.6となり、同+0.8ポイント上昇し、5カ月連続のプラス。輸出新規受注は同+0.5ポイント小幅上昇し50.8となり、2カ月連続で50を上回った(3カ月連続の改善)。一方、雇用指数は48.3となり、同-0.3ポイントと低下し、2カ月ぶりの悪化。2012年6月以来、26カ月連続で50を下回っている。

7月のPMI指数の改善は、リコノミクスの「小型の景気刺激策」の影響と考えられる。

中国製造業購買担当者景況指数(2014年7月まで：％)



出所：中国国家统计局; CEIC データベース

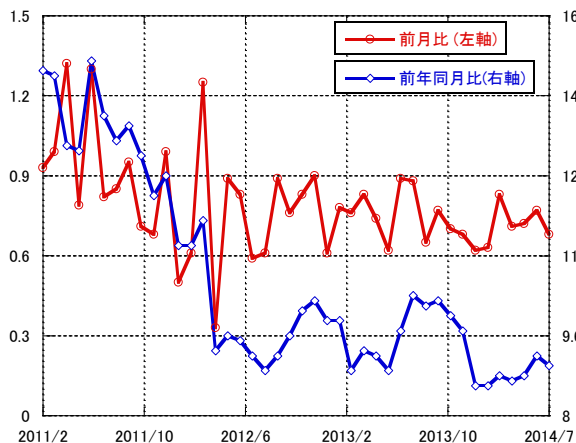
(2) 工業生産

7月の工業生産は、前月比+0.7%と3カ月ぶりの減速(6月：同+0.8%)となった。前年同月比は+9.0%と前月(+9.2%)より縮小した。

産業別に見ると、鉄道・輸送機器製造業(前年同月比+16.6%)、有色金属の製錬・圧延加工業(同+12.9%)、金属製品製造業(同+12.8%)、自動車製造業(同+12.8%)が高い伸びを

示す一方で、繊維工業(同+6.5%)、鉄鋼などの製錬・圧延加工業(同+5.2%)、電力・熱力生産・供給業(同+0.9%)は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2014年7月まで：%)



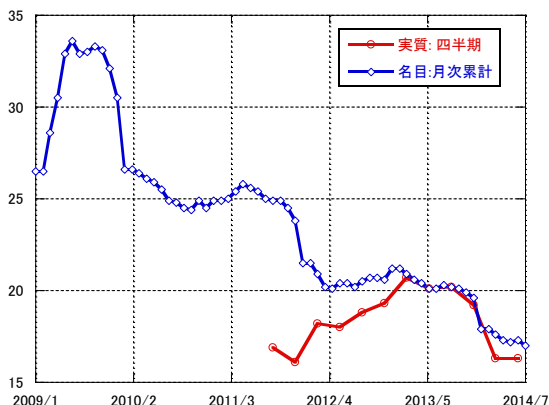
出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

2014年1-7月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+17.0%となり、1-6月期(同+17.3%)から幾分減少した。

産業別に見れば、第1次産業は同+25.1%(前月24.1%)、第2次産業は同+13.9%(前月14.3%)、第3次産業は同+19.2%(前月19.5%)となった。

固定資産投資 (2014年7月まで：%) (累積伸び率)

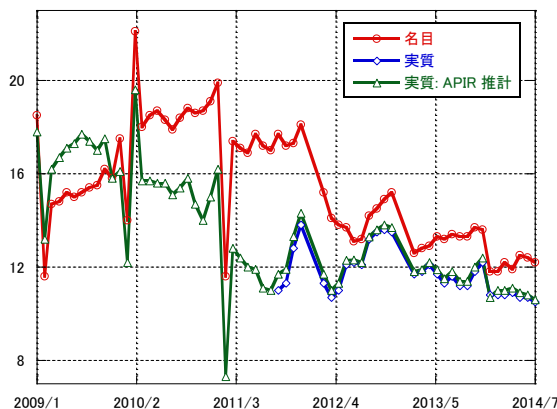


出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

7月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+12.2%となり、前月(同+12.4%)から幾分減速した。消費は中国经济成長のエンジンと期待されているが、3カ月連続の減速となった。

社会消費品小売総額 (2014年7月まで：%)



注：APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

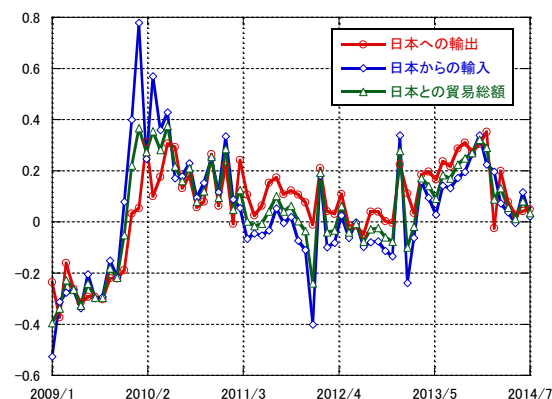
出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 貿易動向

7月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+14.5%増加し、4カ月連続のプラスとなった。輸入額は同-1.53%(速報値)となり、前月(+5.6%)からマイナスに転じた。

うち日本への輸出額は同+2.9%となり、前月(-0.6%)からプラスに転じた。日本からの輸入額は同+0.1%と2カ月連続のプラス。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014年7月まで：%)



出所：中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

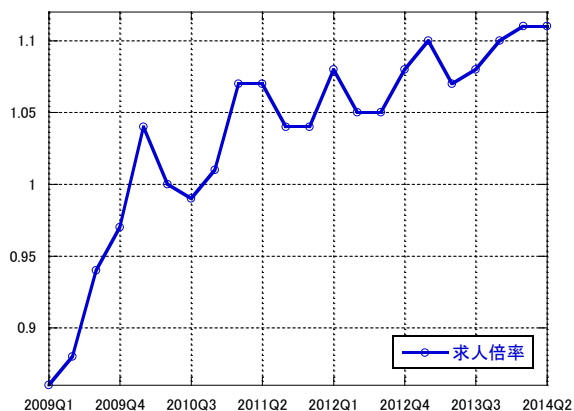
円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+5.0%となり、5 カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同+2.1%となり、2 カ月連続のプラスとなった。

(6) 求人倍率

4-6 月期の有効求人倍率は 1.11 となり、1-3 月期 (1.11) と横ばい。求人数は前期比-10.2%の減少、求職者数は同-7.9%の減少となった(100 主要都市ベース)。

求人倍率を地域別に見ると、東部は 1.12、中部は 1.08、西部は 1.10 となっている。

求人求職倍率 (2014 年第 2 四半期まで)



出所：中国労働市場情報観測センター; CEIC データベース;

APIR 計算

Contact: 岡野光洋・林万平・木下祐輔

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	13/07M	13/08M	13/09M	13/10M	13/11M	13/12M	14/01M	14/02M	14/03M	14/04M	14/05M	14/06M	14/07M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.2	51.4	54.6	52.8	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8	43.6	45.9	46.9	47.9
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	52.0	48.8	53.0	50.4	54.6	54.1	53.7	53.4	60.1	40.4	43.1	44.1	45.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	52.9	52.3	55.9	57.7	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0	51.4	54.1	55.1	56.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	46.1	47.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	50.6	49.3	50.6	49.2	51.3	53.1	52.2	50.2	57.0	37.2	42.1	43.1	44.1
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	53.6	51.2	54.2	54.5	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7	50.3	53.8	54.8	55.8
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	43.3	43.4	45.2	40.6	41.0	40.3	39.9	37.6	36.8	37.1	39.5	40.5	41.5
[関西]〃暮らし向き(原数値)	41.5	40.8	42.4	38.1	38.7	37.6	37.2	34.7	34.1	34.2	37.0	38.0	39.0
[関西]〃収入の増え方(原数値)	40.4	40.3	41.2	37.6	38.4	38.0	37.3	36.5	37.0	37.1	37.7	38.7	39.7
[関西]〃雇用環境(原数値)	47.3	47.6	51.1	45.1	46.1	46.5	48.6	46.3	45.3	44.5	45.7	46.7	47.7
[関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)	44.0	44.9	46.2	41.6	40.7	39.2	36.7	33.0	31.0	32.5	37.6	38.6	39.6
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	43.5	43.1	45.4	41.4	42.4	41.3	40.3	38.5	37.5	37.0	39.3	40.3	41.3
[関西]乗用車新規登録届出数(前年同月比%)	-10.0	-0.5	14.0	17.9	16.2	24.6	28.2	20.8	20.4	-8.9	-2.5	-1.5	-0.5
[関西]家電販売額(前年同月比%)	-13.8	4.6	-5.1	3.3	6.1	-1.2	11.0	34.4	68.6	-18.4	-13.2	-12.2	-11.2
[関西]大型小売店販売額(10億円)	333.5	303.7	289.4	305.0	329.6	415.9	333.3	286.5	377.8	280.8	304.0	305.0	306.0
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-0.4	1.2	2.6	1.0	1.1	1.0	1.0	3.4	19.3	-5.5	0.1	1.1	2.1
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1712.7	1582.3	1506.0	1586.0	1696.3	2139.9	1713.5	1468.6	1956.2	1466.8	1592.9	1593.9	1594.9
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-0.7	0.9	1.7	0.8	1.2	0.9	0.7	2.4	17.0	-6.1	-0.5	0.5	1.5
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	12622.0	11537.0	13606.0	14873.0	13938.0	14737.0	11299.0	9592.0	11170.0	12424.0	10095.0	10096.0	10097.0
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	14.7	-1.2	35.2	19.7	37.9	33.1	11.7	-13.3	2.5	16.9	-18.6	-17.6	-16.6
[全国]新設住宅着工(戸数)	84801.0	84343.0	88539.0	90226.0	91475.0	89578.0	77843.0	69689.0	69411.0	75286.0	67791.0	67792.0	67793.0
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	12.4	8.8	19.4	7.1	14.1	18.0	12.3	1.0	-2.9	-3.3	-15.0	-14.0	-13.0
[関西]マンション契約率(季節調整値)	83.2	79.6	83.1	78.3	79.2	71.7	72.1	80.6	75.9	73.0	81.3	82.3	83.3
[関西]マンション契約率(原数値)	87.0	81.1	80.5	79.6	76.0	69.9	65.2	77.4	77.8	74.3	85.3	86.3	87.3
[全国]マンション契約率(季節調整値)	81.9	84.7	83.5	82.4	79.4	75.0	84.2	81.8	75.4	72.4	78.1	79.1	80.1
[全国]マンション契約率(原数値)	81.6	81.5	83.5	79.6	79.6	76.1	78.6	80.6	79.8	74.7	78.9	79.9	80.9
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	146.6	119.1	167.5	135.7	111.2	112.6	94.3	78.9	132.2	187.0	173.7	188.3	UN
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	37.2	20.8	51.4	12.2	-7.0	37.8	33.2	-6.8	20.8	20.3	21.1	25.0	UN
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1572.5	1226.7	1523.5	1420.5	941.6	886.0	777.6	695.9	1456.8	1758.3	1312.6	1585.5	UN
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	29.4	7.9	29.4	3.5	4.9	7.5	28.8	3.7	18.1	10.0	21.1	14.3	UN
[関西]建設工事(総合、10億円)	453.3	483.0	521.8	540.2	569.5	595.0	592.7	585.3	567.9	442.4	450.5	462.1	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	8.2	11.7	15.0	18.1	19.3	16.4	11.6	10.5	10.1	4.9	5.7	4.2	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3721.3	3981.3	4319.8	4549.6	4779.7	4920.2	4672.1	4607.0	4551.9	3512.0	3435.2	3634.4	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	16.5	16.1	16.2	18.1	17.9	16.9	14.3	12.1	10.9	6.6	3.7	2.8	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1397.5	1567.3	1811.8	1997.6	2171.5	2259.8	2111.5	2123.8	2124.6	1378.3	1301.1	1410.8	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	25.8	24.3	26.7	25.6	24.2	20.9	15.7	14.7	13.8	9.7	9.4	9.4	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.2	102.7	102.9	104.1	102.7	103.9	105.9	105.3	105.9	106.5	109.2	106.3	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	2.7	0.5	0.2	1.2	-1.3	1.2	1.9	-0.6	0.6	0.6	2.5	-2.7	UN
[関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	3.2	-1.9	-0.2	0.5	1.0	3.6	8.5	6.3	6.7	3.0	1.5	5.1	UN
[関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	0.9	-1.2	0.5	1.5	0.7	3.1	3.1	3.0	2.4	3.7	6.4	6.5	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	102.2	101.1	100.6	101.8	102.8	103.1	107.5	106.3	106.7	102.4	102.8	102.5	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	3.0	-1.1	-0.5	1.2	1.0	0.3	4.3	-1.1	0.4	-4.0	0.4	-0.3	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	113.2	111.7	112.6	114.1	112.7	115.5	114.9	114.5	112.8	114.9	117.5	117.7	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	2.1	-1.3	0.8	1.3	-1.2	2.5	-0.5	-0.3	-1.5	1.9	2.3	0.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.6	97.1	98.6	99.2	99.5	100.0	103.9	101.5	102.2	99.3	100.0	101.0	102.0
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	2.7	-0.5	1.5	0.6	0.3	0.5	3.9	-2.3	0.7	-2.8	0.7	1.7	2.7
[全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	1.4	-1.4	4.6	6.3	6.6	6.4	9.3	6.5	6.5	2.4	-0.8	0.2	1.2
[全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	-2.8	-3.4	-3.5	-3.6	-5.1	-4.3	-3.9	-3.4	-1.4	-1.9	0.8	2.8	0.0
[全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.0	96.1	97.7	99.0	99.1	99.3	104.4	103.4	103.2	98.0	97.0	98.0	99.0
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	1.6	0.1	1.7	1.3	0.1	0.2	5.1	-1.0	-0.2	-5.0	-1.0	0.0	1.0
[全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	108.4	107.6	107.5	107.2	105.7	105.5	105.1	104.2	105.7	105.2	108.4	109.4	110.4
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	0.7	-0.7	-0.1	-0.3	-1.4	-0.2	-0.4	-0.9	1.4	-0.5	3.0	4.0	5.0
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.7	-0.6	-0.5	-0.5	-0.1	-0.6	-0.8	-0.3	0.8	0.3	0.8	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-1.3	-0.6	-0.5	-0.5	-0.2	-1.0	-0.5	-0.4	0.6	0.1	0.6	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-0.1	-0.9	-0.2	-0.1	0.6	0.5	-0.2	-0.1	0.7	0.7	0.6	1.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.8	4.3	4.1	4.6	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.5	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.8	4.4	4.1	4.7	3.9	3.6	4.2	4.3	4.4	4.3	4.0	4.2	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.41	1.41	1.42	1.51	1.48	1.58	1.56	1.63	1.62	1.55	1.55	1.61	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.46	1.47	1.50	1.59	1.56	1.64	1.63	1.67	1.66	1.64	1.64	1.67	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.89	0.90	0.89	0.91	0.94	0.96	0.98	1.00	1.00	1.01	1.02	1.02	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.94	0.95	0.95	0.98	1.00	1.03	1.04	1.05	1.07	1.08	1.09	1.10	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-123.2	7.1	-34.3	-112.4	-106.0	-77.0	-461.8	51.8	-110.9	-8.1	-27.7	-21.7	UN
[関西]輸出(10億円)	1242.8	1256.9	1254.4	1284.7	1242.3	1308.4	1087.7	1212.5	1351.7	1312.7	1231.2	1288.9	UN
[関西]輸出(前年同月比%)	10.6	15.7	5.3	14.3	15.6	10.6	10.3	15.0	3.1	8.6	1.2	1.5	UN
[関西]輸入(10億円)	1366.0	1249.8	1288.7	1397.0	1348.3	1385.4	1548.3	1160.7	1462.6	1323.4	1258.8	1310.5	UN
[関西]輸入(前年同月比%)	19.9	11.4	15.9	23.9	12.2	22.6	26.6	7.6	20.0	2.7	0.0	13.8	UN

注1：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
28-Jul 中国求人倍率* (4-6 月期)	29-Jul	30-Jul	31-Jul	1-Aug 中国製造業 PMI (7 月)
4-Aug	5-Aug	6-Aug	7-Aug	8-Aug 景気ウォッチャー調査 (7 月) 中国輸出入 (7 月: 速報値)
11-Aug 商業動態調査 (6 月: 確報値) 消費動向調査(7 月) 近畿鉱工業生産指数 (6 月速報) 中国工業生産** (7 月)	12-Aug 全国鉱工業生産指数 (6 月: 確報値)	13-Aug 中国固定資産投資 (7 月) 中国消費小売総額 (7 月)	14-Aug マンション契約率 (7 月)	15-Aug
18-Aug 毎月勤労統計 (6 月: 確報値) 建設総合統計(6 月)	19-Aug	20-Aug 全国貿易統計 (7 月: 速報) 近畿貿易統計 (7 月速報)	21-Aug	22-Aug
25-Aug 近畿鉱工業生産指数 (6 月速報)	26-Aug	27-Aug 近畿貿易統計 (7 月速速)	28-Aug 全国貿易統計 (7 月: 確速)	29-Aug 全国鉱工業生産指数 (7 月: 速報値) 商業動態調査 (7 月: 速報値) 新設住宅着工(7 月) 求人倍率(7 月) 完全失業率(7 月)

*)中国求人倍率は 7 月 23 日公表。

**)中国工業生産は 8 月 9 日公表